

I 教育目標

やさしい子

たくましい子

考える子

人権尊重の教育を基盤に、思いやりにあふれ、心身ともに健康で、社会の変化に主体的に対応し、自ら考え正しく判断し、行動できる心豊かな児童の育成を図る。

II 黒門の教育ビジョン

重点目標 主体的な「探究」と「対話」で問題解決する児童を育成する。

成果指標

児童が選択や判断をする機会を取り入れた授業改善を進め、自らの問題・課題に対し、主体的に取り組む学習展開を増やす。
(教師アンケート肯定率：100%)



朝の登校・挨拶



入学式

III 目指す学校の姿 ～4つの柱～

「チーム黒門」で「社会に開かれた教育課程」の実現

- チーム黒門（育ての会・同窓会や地域の関係諸団体等と学校）の連携・協力で、学びの空間を広げ、本物体験で感動する場面に出会う機会を増やす。
- 教育内容の可視化に努める。また、児童の思いや保護者評価等を積極的に生かし、計画の見直しや組織の活性化を進める。

「確かな学力」の育成

- 知識・技能の確実な習得を目指すとともに、思考力・判断力・表現力等を育成し、確かな学力の向上を実現する。児童に選択や判断を委ねる学習と学びの質を保証する教師の在り方を追究する。
- GIGAスクール構想に基づき、1人1台端末等のICT機器を子供の学びを支える道具として日常的に活用するとともに、新たな学習活動の可能性を見出していく。

「豊かな心」の涵養

- 「考え、議論する」道徳科を要とし道徳教育を充実することを通して、自立・自律した人間（二つのジリツ）として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- 難聴・言語障害通級指導学級や特別支援教室との連携を深めて特別支援教育・人権教育を推進する。また、全ての子供たちが安心して学ぶことのできる教育環境の確保、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期解決・解消に組織的に取り組む。

「健やかな体」の育成

- これまでのオリンピック・パラリンピック教育を生かして、多様性への理解や体力向上を目指した運動習慣の確立を図る。